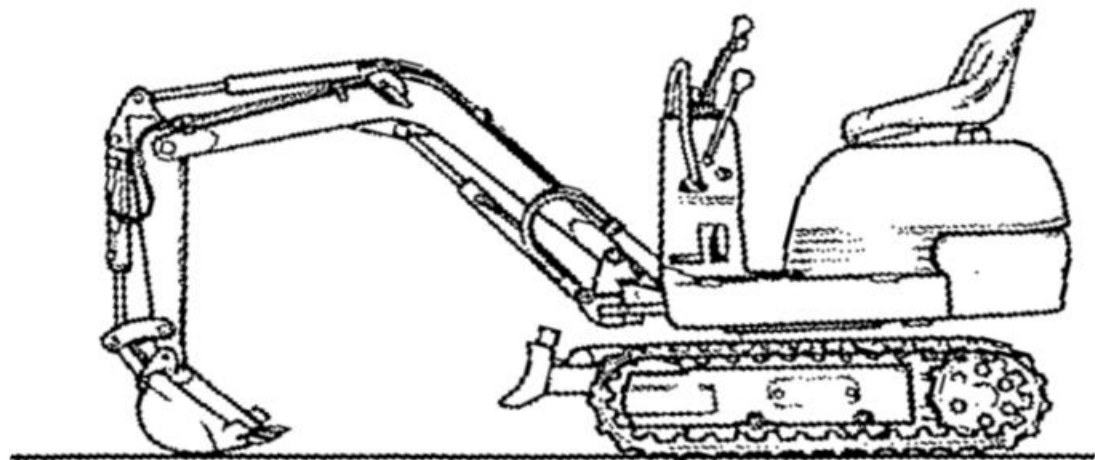




## 注 意

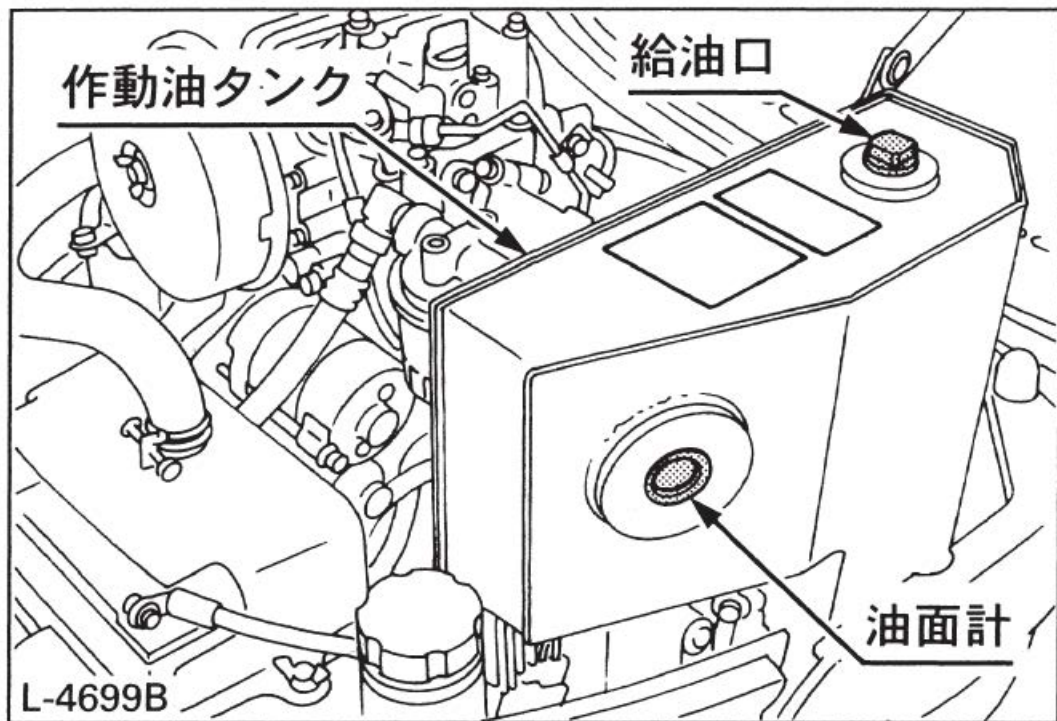
\* 作動油タンク給油口部のプラグを外す前に必ず作業機の圧抜きを行なってください。また、油温が完全に下がってからプラグを外してください。油が噴出し、ヤケドをする可能性があります。

- ① 機体を水平な所に止め、ブーム、アーム、バケットの各シリンダを最伸長まで伸ばします。
- ② 作動油が、規定量入っているか点検してください。
- ③ 油面計の中央にあれば正常です。
- ④ 作動油が不足しているとき（油面計中央部が反射して白く見える）は、給油口より補給してください。



⑤ 作動油に水などが混入して全量交換が必要なときは、オイルタンク底部のドレンプラグを外して排油します。作動油はドレンプラグを確実に締めたあと、給油口より規定量を注入します。

\* 作動油量……約 7.2L



## 重 要

- \* タンク内に沈殿物がたまっている場合は、内面を洗浄してください。
  - \* タンク内に異物が混入しないように十分注意してください。
  - \* 補給する場合は、付近の砂やゴミをよくふき取り必ず同一銘柄の作動油を使用してください。
  - \* 工場出荷時の作動油銘柄は、“推奨潤滑油脂”の項を参照してください。
- (絶対に他銘柄と混合しないでください。)